

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

令和2年8月19日

審査機関名 ソロテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	ゆきぐに森林組合におけるバイオマスボイラー導入によるCO2削減事業
承認番号	JCDM-PJKC0690
排出削減事業者名	ゆきぐに森林組合
排出削減共同実施事業者名	十日町市
事業実施場所	ゆきぐに森林組合 松之山工場 (新潟県十日町市松之山小谷68番地2)
事業の概要	ゆきぐに森林組合 松之山工場における蒸気製造の熱源としてバイオマスボイラーを新設することにより、化石燃料蒸気ボイラーで蒸気製造を行う場合に比べて、化石燃料の消費量を抑制し、CO2を削減することが出来る。バイオマスボイラーで製造した蒸気は、工場内のきのこ生産設備の加温等に利用される。
排出削減量の計画	2011年度：316tCO2/年 2012年度：542tCO2/年 2013-2018年度：545tCO2/年 2019年度：228tCO2/年 (事業実施期間合計 4,356tCO2)
認証期間	開始日 2011年9月1日 終了予定日 2019年8月31日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2019年8月31日となっている。

排出削減方法論	方法論番号 001-A ボイラーの新設
---------	---------------------

2. 本実績確認の対象期間

2017年10月1日～2019年8月31日（第5回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	739 tCO ₂ （2017年10月1日～2019年8月31日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 給水量・水温月別集計表月別集計表による給水量、水温の計測結果及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 給水量・水温月別集計表月別集計表による給水量、水温の計測結果、事業実施前ボイラーのカタログによる効率値及び排出削減事業者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 給水量・水温月別集計表月別集計表による給水量、水温の計測結果及び排出削減事業者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。

	<p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.6により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果を給水量・水温月別集計表による給水量、水温量の計測結果データと集計表との突合、さらに計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	<p>今回の実績確認対象期間は2017年10月1日から2019年8月31日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2019年8月31日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における再生可能エネルギー利用量は原油換算 232 kl、熱量換算 8,991.1GJであることを確認した。

以 上